

日本人にとって  
自然とは何か  
水田生態系における生物多様性



入場料  
無料

第27回

未来の子どもたちに持続可能な環境を

# タカミヤ・マリバー 環境保護シンポジウム

とき

2024年

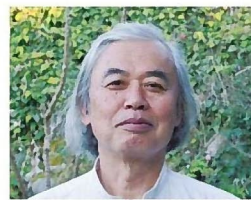
11月9日(土) 9:30~12:00

ところ

北九州市立  
商工貿易会館 2F大ホール

講演  
テーマ

水田生態系における生物多様性等



登壇者

農学博士(九州大学)

宇根 豊

Une Yutaka

1950年長崎県生まれ。1973年から福岡県農業改良普及員。1978年に水田の減農薬運動を提唱。「虫見板」を普及し「ただの虫」を発見。1989年から百姓、2000年福岡県庁退職。NPO法人「農と自然の研究所」を仲間とつくり、代表理事として活動(2010年4月まで)。田んぼの生き物調査、生きもの指標、生きもの全種リストなどを完成。著書に「愛国心と愛郷心」「百姓学宣言」「田んぼの学校」「田の虫図鑑」「うねゆたかの田んぼの絵本 全5巻」(以上、農文協)、「農本主義のすすめ」(ちくま新書)、「日本人にとって自然とはなにか」(ちくまプリマー新書)、「農はいのちをつなぐ」(岩波ジュニア新書)、「天地有情の農学」(コモンズ)などがある。